



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant Gen8、Gen9、Gen10 サーバー の HPE iLO の標準機能およびライセンスが 必要な機能

摘要

このガイドでは、HPE iLO ライセンスの購入に関する情報を提供します。

部品番号: P00307-195
発行: 2019 年 2 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。


VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

目次

HPE iLO の標準機能およびライセンスが必要な機能	4
Web サイト.....	9
Web サイト.....	9
関連情報.....	9
サポート.....	10
HPE iLO ライセンスのサポート連絡先のアドレス.....	10
サービス契約 ID (SAID) の取得とアップデートへのアクセス.....	10
サポートと他のリソース.....	11
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	11
アップデートへのアクセス.....	11
カスタマーセルフリペア (CSR)	12
リモートサポート (HPE 通報サービス)	12
保証情報.....	12
規定に関する情報.....	12
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	13
標準およびライセンス機能の説明.....	14

HPE iLO の標準機能およびライセンスが必要な機能

次の表に、iLO をサポートする HPE ProLiant、HPE Edgeline、HPE Apollo、HPE BladeSystem サーバーに追加費用なしで搭載される標準 iLO 機能、および iLO Advanced ライセンスで使用可能な iLO のライセンス機能を示します。

 ヒント: 機能の説明を表示するには、表の機能列でその機能のリンクをクリックしてください。

関連項目:

- 機能の説明については、「[標準およびライセンス機能の説明](#)」を参照するか、表の機能のリンクをクリックしてください。
- 使用例の説明については、HPE iLO ライセンスガイド (<http://www.hpe.com/info/iLO/docs>) を参照してください。

表 1: HPE iLO の標準機能およびライセンスが必要な機能

機能	iLO Standard	iLO Essentials ¹	iLO Advanced Premium Security Edition ²	iLO Advanced iLO Advanced for Blades ¹	iLO Advanced ³
プラットフォームのサポート	iLO をサポートするすべてのサーバーで追加費用なしで搭載	HPE ProLiant Gen9 100 シリーズと下位シリーズ、MicroServer、HPE ProLiant Gen8 SL、BL、および DL160	iLO 5 v1.30 以前のすべての Gen10 サーバー	すべてのサーバー (BL および WS サーバー用の iLO Advanced for BladeSystem) および Edgeline シャーシで使用される iLO を備えた Moonshot カートリッジ	iLO 5 v1.40 を搭載したすべての Gen10 サーバー
Active Health System 診断	X	X	X	X	X
アドバンスド電力管理 (電力履歴グラフ、動的消費電力上限)			X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Essentials ¹	iLO Advanced Premium Security Edition ²	iLO Advanced iLO Advanced for Blades ¹	iLO Advanced ³
Agentless Management	X	X	X	X	X
自動 Secure リカバリ (Gen10 およびそれ以降)			X		X
バックアップとリストア (Gen10 およびそれ以降)	X	X	X	X	X
Commercial National Security Algorithm (CNSA)モード (Gen10 およびそれ以降)			X		X
コアブースト (Gen10 およびそれ以降) ⁴			X	X	X
ディレクトリサービス認証			X	X	X
Discovery Service			X	X	X
Email ベースのアラート		X	X	X	X
内蔵リモートサポート	X	X	X	X	X
内蔵システムヘルス	X	X	X	X	X
統合リモートコントロールによるグローバルチームコラボレーション			X	X	X
iLO 連携検出	X	X	X	X	X
iLO 連携管理			X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Essentials ¹	iLO Advanced Premium Security Edition ²	iLO Advanced iLO Advanced for Blades ¹	iLO Advanced ³
<u>iLO リセット</u> ⁵	X	X	X	X	X
<u>iLO RESTful API</u>	X	X	X	X	X
<u>iLO Web インターフェイス</u>	X	X	X	X	X
<u>統合リモートコントロール</u> (IRC/仮想 KVM - テキストとグラフィックスをサポート)	BL および WS を除くすべてのサーバーではプリ OS のみ。BL および WS サーバーでは標準提供	X	X	X	X
<u>統合リモートコントロールの録画および再生</u>			X	X	X
<u>IPMI Over LAN/DCMI</u>	X	X	X	X	X
<u>IPv6</u>	X	X	X	X	X
<u>Jitter Smoothing</u> (Gen10 およびそれ以降)			X	X	X
<u>プリブートヘルス概要</u> ⁶	X	X	X	X	X
<u>リモート Syslog</u>			X	X	X
<u>RIBCL</u>	X	X	X	X	X
<u>ランタイムファームウェア検証</u> (Gen10 およびそれ以降)			X		X
<u>スクリプト方式の仮想メディア</u>			X	X	X

表は続く

機能	iLO Standard	iLO Essentials ¹	iLO Advanced Premium Security Edition ²	iLO Advanced iLO Advanced for Blades ¹	iLO Advanced ³
<u>不揮発性ストレージの完全消去 (NAND/ユーザーデータ)</u>			X		X
<u>Silicon Root of Trust (シリコンレベルの信頼性)</u> (Gen10 およびそれ以降)	X	X	X	X	X
<u>SSH コマンドラインインターフェイス</u>	X	X	X	X	X
<u>テキストベースのリモートコンソール (Textcons)</u>			X	X	X
<u>SSH 経由でのテキストベースのリモートコンソール⁷</u>			X	X	X
<u>Two-Factor 認証 (Kerberos、スマートカード - PIV/Common Access Card)</u>			X	X	X
<u>統合リモートコンソール経由での仮想メディア</u>	BL および WS サーバーのみ標準提供	X	X	X	X
<u>仮想電源ボタン</u>	X	X	X	X	X
<u>仮想シリアルポート</u>	X	X	X	X	X
<u>仮想シリアルポートの録画および再生</u>			X	X	X
<u>Workload Matching プロファイル</u> (Gen10 およびそれ以降)	X	X	X	X	X

- 1 2019年1月31日以降は購入できません。
- 2 iLO 5 v1.40 がリリースされた後は購入できません。
- 3 iLO 5 v1.40 のリリース後に購入できます。
- 4 コアブーストは、選択されたインテルプロセッサで動作し、より多くのプロセッサコアでより高いパフォーマンスを実現します。詳しくは、次のサイト <http://www.hpe.com/support/gen10-intelligent-system-tuning-en> で入手できる HPE Gen10 Servers Intelligent System Tuning ホワイトペーパーを参照してください。
- 5 iLO リセットは HPE Gen9 以降のサーバー上でのみ使用できます。
- 6 プリブートヘルス概要は、HPE Gen9 以降のサーバーでのみ使用できます。
- 7 SSH 経由でのテキストベースのリモートコンソールは、レガシー BIOS ブートモードを使用するように構成されたサーバーでのみサポートされます。UEFI モードを使用するように構成されたサーバーではサポートされません。

Web サイト

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<http://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<http://www.hpe.com/storage/whitepapers>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

関連情報

Web サイト	Link
HPE Integrated Lights-Out (iLO) のヘルプリンクとリソース	http://www.hpe.com/support/ilo-resource-ref-en
アクティベーションキー契約 (AKA) /トラッキングライセンス	http://www.hpe.com/info/aka
HPE iLO	http://www.hpe.com/info/ilo
HPE iLO Advanced ライセンスのビデオ	https://www.youtube.com/watch?v=8MTcDsS7yQY
HPE iLO のドキュメント	http://www.hpe.com/info/ilo/docs
HPE iLO Essentials ライセンスのビデオ	https://www.youtube.com/watch?v=bTSxlwy5010
HPE iLO の無料オンライントレーニング	http://www.hpe.com/ww/iloBundle
HPE iLO のライセンス	http://www.hpe.com/info/ilo/licensing
HPE iLO のライセンス (スペイン語)	https://www.youtube.com/watch?v=xYzIph2ZrUE&feature=youtu.be/h
HPE iLO Mobile アプリケーション	http://www.hpe.com/info/ilo/mobileapp
HPE iLO テクニカルハウツービデオ	http://www.hpe.com/info/ilo/videos
HPE ライセンスポータル	https://myenterpriselicense.hpe.com
HPE ProLiant のトレーニング	http://www.hpe.com/ww/learnproliant
HPE テクニカルサポート	http://www.hpe.com/assistance

サポート

HPE iLO ライセンスのサポート連絡先のアドレス

注記:

- ・ サポートを受けるには、ライセンス購入の証明書を提示する必要があります。
- ・ 引き換えた（アクティブ化された）ライセンスを交換することはできません。

-
- ・ 南北アメリカ：licensing.ams@hpe.com
 - ・ 欧州、中東、およびアフリカ：licensing.emea@hpe.com
 - ・ アジア太平洋地域および日本：licensing.apj@hpe.com

サービス契約 ID（SAID）の取得とアップデートへのアクセス

SAID は、サービス契約の利用権限に割り当てられた 12 桁の番号です。SAID は、HPE ハードウェアおよびソフトウェア製品に対する HPE テクニカルサポートおよびソフトウェアアップデートにアクセスする際に必要となります。

ライセンスが[マイライセンスポータル](#)に登録されると、お客様の SAID とその他の契約情報を記載した Welcome to Support レターまたは電子メールが送信されます。

SAID を受け取ったら、ソフトウェアアップデートおよびライセンスポータル（<http://www.hpe.com/downloads/software>）から直接アップデートにアクセスできるように、SAID を HPE パスポートアカウントにリンクすることができます。

手順

1. Hewlett Packard Enterprise サポートセンター（<http://www.hpe.com/support/hpesc>）にアクセスし、HPE パスポートアカウントを使用してログインします。
2. 左側のナビゲーションメニューで、**契約と標準保証の管理**をクリックします。
3. **サポート契約をリンク**をクリックし、手順に従います。

SAID が HPE パスポートアカウントにリンクされていない場合は、次の方法でソフトウェアアップデートにアクセスします。

- ・ ソフトウェアアップデートとライセンスポータル（<http://www.hpe.com/downloads/software>）にアクセスし、お客様の HPE パスポートアカウントでサインインします。
- ・ **Directly enter an SAID** を選択し、SAID を入力して**利用可能な製品を表示する**をクリックします。

iLO ライセンス テクニカル サポートおよびソフトウェアのアップデートの更新

すべての iLO ライセンスのアクティベーション キー は、1 年間あるいは 3 年間の、365 日無休の HPE Foundation Care テクニカルサポート付きで販売されています。サポートの有効期限の日付に達すると、通知書面がお客様に送信され、追加のサポートカバレッジをオファーします。サポートの有効期限の前に、更新のオファーの手紙を受けとらない場合には、HPE アカウント担当者またはリセラーに問い合わせてください。継続的なソフトウェア更新のサポートのためには、お客様の iLO ライセンスで使用されている HPE ハードウェア製品が有効な保証やサポートメンテナンス契約を維持していることを確認してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

標準およびライセンス機能の説明

注記: iLO 5 v1.40 を搭載した HPE Gen10 サーバーでは、iLO Advanced ライセンスで以下のすべての機能を使用できます。iLO 5 v1.40 のリリースでは、iLO Essentials、iLO Advanced for BladeSystem、および iLO Advanced Premium Security Edition のすべての機能が iLO Advanced ライセンスに含まれる予定です。

次のリストでは、標準の HPE iLO サーバー機能と、ライセンスが必要な機能について説明します。ライセンスが必要な機能については、該当するライセンスを示しています。

Active Health System 診断

24 時間 365 日稼動する、ご使用のサーバーのコントロールセンターを提供します。1600 以上のシステムパラメーターを継続的に監視し、ヘルスおよびサービスの統合アラートを受信することができます。

対象

すべてのお客様

アクティブヘルスシステムビューアー

サーバーの問題を表示して自己診断できるようにした無料のツールです。<http://www.hpe.com/servers/ahsv> でビューアーを入手してください。

対象

すべてのお客様

Advanced Power Management

3 つの iLO インターフェイス（ブラウザー、スクリプト、またはコマンドライン）のいずれかから電力関連データへアクセスできます。入手可能な情報には、パワーレギュレーターがダイナミックセービングモードになっていた時間、24 時間単位での平均、ピーク、最小消費電力、および iLO 電力メーター（ホストでサポートされている場合）が含まれます。

対象

企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

必要なライセンス

iLO Advanced または iLO Advanced for BladeSystem

Agentless Management

オペレーティングシステムおよびプロセッサから独立して、SNMP トラップと追加のオペレーティングシステムデータを監視して生成します。

対象

すべてのお客様

自動でのセキュアリカバリ

電源の作動時に iLO ファームウェアを検証します。ファームウェアが無効な場合、iLO ファームウェアは自動的にフラッシュされます（iLO Standard ライセンス）。また、サーバーの起動時に、システム ROM を検証します。有効なシステム ROM が検出されないと、サーバーは起動できません。リカバリオプションには、アクティブおよび冗長 ROM の交換、ファームウェアの検証スキャンとリカバリアクションの開始が含まれます（iLO Advanced Premium Security Edition ライセンス）。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition

バックアップとリストア

バックアップとリストア機能を使用すると、バックアップ元のシステムとハードウェア構成が同じシステムに iLO 構成をリストアできます。この機能は、構成を複製して別の iLO システムに適用するものではありません。

一般に、iLO リストア操作をユーザーが実行する必要はないものと想定されています。ただし、構成のバックアップを取っておくことで、通常の動作環境に容易にすばやく戻ることができる場合があります。

あらゆるコンピューターシステムと同様に、データをバックアップして障害の影響を最小限に抑えることをお勧めします。Hewlett Packard Enterprise は、iLO ファームウェアを更新するたびにバックアップを実行することをお勧めします。

Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード

Commercial National Security Algorithm (CNSA) モード (SuiteB セキュリティ状態とも呼ばれる) は、FIPS セキュリティ状態が有効な場合にのみ使用できます。

このセキュリティ状態に設定されている場合、次のようになります。

- ・ iLO は、NSA により定義された SuiteB 要件への準拠を目的とするほか、米国政府機密として分類されたデータを保持するために使用するシステムを保護することを目的とするモードで動作します。
- ・ SUM を使用して iLO セキュアフラッシュコンポーネント、TPM コンポーネント、または NVDIMM コンポーネントを直接インストールすることはできません。これらのコンポーネントタイプをインストールするには、SUM を使用してファイルまたはインストールセットを iLO インストールキューに追加するか、iLO ファームウェアまたはグループファームウェアアップデートページを使用して各アップデートを個々にインストールします。
- ・ TLS 1.2 をサポートしていないネットワークベースのツールを使用してサーバーに接続することはできません。
- ・ iLO セキュリティをバイパスするためのシステムメンテナンススイッチ設定 (iLO セキュリティオーバーライドスイッチと呼ばれる場合もある) は、iLO へのログインに関するパスワード要件を無効にしません。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition

コアブースト

コアブーストは選択されたインテルプロセッサを使用して、複数のプロセッサコアのパフォーマンスを向上させることができます。詳しくは、次のサイト <http://www.hpe.com/support/gen10-intelligent-system-tuning-en> で入手できる HPE Gen10 Servers Intelligent System Tuning ホワイトペーパーを参照してください。

ディレクトリサービス認証

Microsoft® Active Directory などのディレクトリサービスを統合して、ディレクトリユーザーに対して、Integrated Lights-Out プロセッサに割り当てられたユーザーロールを持つことを認可します。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

Discovery Service

サーバーの位置を HPE SIM および Insight Control に自動的にレポートします。Power Discovery Service は、iPDU テクノロジーの拡張機能です。iPDU の電源ステータスを自動的に報告します。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

Email ベースのアラート

ホストオペレーティングシステムから独立して検出された iLO アラート条件を、指定したメールアドレスに送信します。

対象

すべてのお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Essentials、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

内蔵リモートサポート

HPE リモートサポート用のサーバーを登録できます。

対象

すべてのお客様

内蔵システムヘルス

システム管理ドライバーをロードせずに、ファン、温度センサー、電源装置センサー、および VRM を監視します。

これらのコンポーネントのステータスは、ホストオペレーティングシステムから独立して、すべての ProLiant 用 HPE iLO ユーザーインターフェイス（ブラウザー、SMASH CLP コマンドライン、およびスクリプト）からアクセスできます。また、管理プロセッサは、IPMI 指定のインターフェイスを介して、センサーステータスをオペレーティングシステムにレポートします。iLO のインテリジェンス機能は、Sea of Sensors による温度制御の管理、動的消費電力上限テクノロジーの制御、およびサーバーコンポーネントの稼動状況の監視を行います。

対象

システムメンテナンスを行うすべてのお客様

統合リモートコンソールによるグローバルチームコラボレーション

異なる場所にいる、リモートコンソール権限を持つ最大 6 人までの iLO ユーザーが、統合リモートコンソールを使って連携してリモートサーバーのトラブルシューティング、メンテナンス、および管理を行うことができます。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

iLO 連携検出

複数のシステムの連携グループ内の iLO を使用してクエリを実行し、グループ全体から結果を返します。iLO Web インターフェイスの iLO 連携ページ上のデータがロードされると、選択した iLO 連携グループのすべてのデータが取得されるまで、Web インターフェイスを実行する iLO システムから iLO のピアに、またそれらのピアから他のピアにデータのリクエストが送信されます。

対象

多数の HPE サーバーを備えるエンタープライズ向けのお客様

iLO 連携グループライセンスアクティベーション

構成された iLO 連携グループ内のすべてのサーバーで、ライセンスが必要な機能を有効にします。

必要なライセンス

iLO Advanced または iLO Advanced for BladeSystem

iLO 連携管理

iLO Web インターフェイスを実行している 1 つのシステムから複数のサーバーを管理できます。

対象

多数の HPE サーバーを備えるエンタープライズ向けのお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

iLO リセット

UID ボタンを 5 秒間押すと、サーバーを停止せずに iLO を手動でリセットできます。

対象

すべてのお客様

iLO RESTful API

iLO RESTful API は、サーバー管理ツールから使用することで iLO 経由でサーバーの構成、インベントリ、および監視を実行できる管理インターフェイスです。RESTful インターフェイスツールなどの REST クライアントは、HTTPS 操作を iLO の Web サーバーに送信して JSON 形式のデータの GET と PATCH を実行したり、サポートされる iLO とサーバーの設定を構成します。

Redfish 準拠の iLO RESTful API

Redfish 準拠の HPE RESTful API を介して iLO を操作します。

対象

マルチベンダーのデータセンターを備えていて、それらを共通の方法で管理したい、かつ IPMI の脆弱性を好まないお客様。

iLO Web インターフェイス

標準の iLO ユーザーインターフェイスに、ライセンスされている機能の Web ベースの監視と管理を追加します。

対象

すべてのお客様

統合リモートコンソール (IRC)

サポートされているブラウザを仮想デスクトップとして使用し、ホストサーバーのディスプレイ、キーボード、マウスを完全に制御できるようにします。リモートコンソールを使用すれば、リモートファイルシステムおよびネットワークドライブにアクセスして、リモートのホストサーバーが再起動するときの POST ブートメッセージを確認することができ、ROM ベースのセットアップルーチンを起動してリモートのホストサーバーのハードウェアを構成することもできます。オペレーティングシステムをリモートでインストールする場合、統合リモートコンソールにより、インストール作業の全体をホストサーバーの画面に表示して、制御することができます。

対象

リモート管理を必要とするすべてのお客様。

必要なライセンス

iLO Standard ライセンスの場合、この機能がサポートされるのはプリ OS のテキストモードのみです。他のすべての iLO ライセンスタイプでは、完全にサポートされます。

統合リモートコンソールの録画および再生

起動、ASR イベント、および検出されたオペレーティングシステムの不具合のようなイベントのビデオストリームを記録し、再生します。コンソールビデオの録画を手動で開始および停止することもできます。統合リモートコンソールアプレットを使用して、保存された iLO ビデオファイルを表示できます。

対象

エンタープライズ向けのお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

IPMI over LAN/DCMI

LAN または Intelligent Platform Management Interface 仕様のデータセンター管理インターフェイス機能を使用して、プロセッサ、ファームウェア、およびオペレーティングシステムから独立してリモート接続を確立します。

対象

マルチベンダーのデータセンターを備えていて、それらを共通の方法で管理したいお客様。

IPv6

IPv6 ネットワークのサポートを提供します。

Jitter Smoothing

HPE の Jitter Smoothing テクノロジーは、プロセッサ周波数の変動を緩和して遅延を低減し、確実に信頼性の高いパフォーマンスを実現します。プロセッサ周波数の変動が頻繁に発生する可変的ワークロードでは、Jitter Smoothing はターボブーストモードだけでスループット全体を改善することができます。

Kerberos 認証

iLO 認証をお客様のセキュリティシステムに統合します。クライアントワークステーションがドメインにログインしており、ユーザーが iLO で構成されているディレクトリグループのメンバーである場合、このユーザーは、ユーザー名とパスワードを入力せずに iLO にログインできます。

対象

企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

ブート前ヘルスサマリー

iLO を使用すると、サーバーの電源をオンまたはオフにしたときに外部モニターにブート前ヘルスサマリーを表示できます。この機能は、サーバーが起動しないときのトラブルシューティングに役立ちます。この機能を使用すると、サーバーの IP アドレスやその他のヘルス情報を表示できます。

対象

すべてのお客様

リモート Insight ボードコマンド言語 (RIBCL)

サーバー管理用のリモート Insight ボードコマンド言語を提供します。

リモート Syslog

Syslog サーバーにイベント通知メッセージを送信します。

対象

セキュリティ情報およびイベント管理 (SIEM) システムを備えるエンタープライズ向けのお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

ランタイムファームウェア検証

ファームウェア検証機能では、オンデマンドスキャンを実行したり、スケジュールされたスキャンを実施できます。検出された問題に対応するには、結果を記録するのか、それとも結果を記録してリカバリインストールセットを使用する修復アクションを開始するのかが選択します。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition

スクリプト方式の仮想メディア

iLO 連携グループ内のサーバーからアクセスできるスクリプト方式のメディアに接続します。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

不揮発性ストレージの完全消去 (NAND/ユーザーデータ)

これにより、すべてのユーザーおよび保証情報の完全ハードウェア消去が実行されます。これには最大 24 時間かかる場合があります、完了するまで中断できません。この機能を GUI で表示および機能させるには、iLO Advanced Premium Security Edition ライセンスが必要です。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition

セキュアシェル (SSH) コマンドラインインターフェイス

セキュアシェル CLI による監視と管理を行います。

対象

リモート管理を必要とするすべてのお客様。

Silicon Root of Trust

HPE は、HPE Gen10 サーバーで、ハードウェアに Silicon Root of Trust を組み込んだ初の業界標準サーバーを提供しています。Silicon Root of Trust は、既知の良好な状態を確保するため、下位レベルのファームウェアから BIOS やソフトウェアに至るまでの一連の信頼済みハンドシェイクを提供します。

iLO 5 チップセットは Silicon Root of Trust の機能を実行し、チップ製造施設でシリコンハードウェアに組み込まれる暗号化されたハッシュが含まれています。これにより、ブートプロセスを破壊する可能性のあるマルウェア、ウイルス、または侵害されたコードを入り込ませることが事実上不可能になります。iLO ファームウェアが起動するたびにファームウェアの整合性をチェックするのではなく、iLO チップセットシリコンに永続的に格納されている暗号化ハッシュに一致するかどうかに基づいて、iLO 5 ハードウェアが iLO ファームウェアを実行するかどうかを決定します。これらの改善によって、iLO 5 が実行中であればサーバーは信頼できることが保証されます。

Smart アレイのセキュア暗号化

HPE Smart アレイコントローラーをサポートし、サーバーに直接接続した HDD または SSD ストレージに保存済みデータ暗号を提供します。この暗号化では、256 ビットの XTS-AES アルゴリズムを使用して、HDD や SSD ボリュームを暗号化する統合されたソリューションを提供します。

対象

企業、金融、政府、セキュリティを重視するお客様

必要なライセンス

iLO Advanced または iLO Advanced for BladeSystem

テキストベースのリモートコンソール (Textcons)

テキストベースのリモートコンソール (Textcons) では、サーバーの BIOS 経由での双方向のデータストリームの通信を実行することができます。

対象

主に BIOS モードで Linux を使用しているハイパースケールなお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

SSH 経由でのテキストベースのリモートコンソール

SSH 暗号化によって保護された、カスタマイズ可能なテキストベースのリモートコンソールを提供します。

対象

ハイパースケールなお客様

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

Two-Factor 認証 (Kerberos、スマートカード - PIV/Common Access Card)

Kerberos 認証または PIV/CAC スマートカード認証を構成することで、Two-Factor 認証を実装できます。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition または iLO Advanced

統合リモートコンソール経由での仮想メディア

統合リモートコンソールを使用して仮想メディアを制御できます。

対象

リモート管理を必要とするすべてのお客様。

必要なライセンス

iLO Standard for BladeSystem、iLO Essentials、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

仮想電源ボタン

ホストの電源ボタンを遠隔操作します。

たとえば、ホストサーバーの電源がオフのとき、HPE ProLiant iLO ブラウザー、コマンドライン (SM CLP)、XML スクリプト、または WS Management インターフェイスからオンにすることができます。また、サーバーの電源を一度にオフ/オンすることもできます。オペレーティングシステムに障害が発生しているサーバーの電源を切る際に、瞬間的に押す操作では不十分な場合に、仮想電源ボタンの「押し続ける」オプションを使用できます。

対象

リモート管理を必要とするすべてのお客様。

仮想シリアルポート

サーバーのシリアルポートによる双方向のデータフローを実現します。リモートコンソールを使用すると、リモートサーバーシリアルポート上に物理シリアル接続が存在するかのように操作できます。

対象

主に Linux ユーザーであるハイパースケールなお客様

仮想シリアルポートの録画および再生

サーバーのシリアルポートによる双方向のデータフローを実現するため、リモートサーバーのシリアルポート上に物理的なシリアル接続が存在するかのように操作できます。iLO 仮想シリアルポートはテキストベースのコンソールとして表示されますが、その情報はグラフィカルビデオデータを通じて描画されます。サーバーがプレオペレーティングシステム状態にあるとき、iLO はこの情報を SSH クライアントを通して表示するので、ライセンスのない iLO が POST 処理中にサーバーを確認して通信できるようになります。

必要なライセンス

iLO Advanced Premium Security Edition、iLO Advanced、または iLO Advanced for BladeSystem

Workload Matching プロファイル

HPE Workload Matching では、事前に構成されたワークロードプロファイルを選択することにより、HPE ProLiant サーバーのリソースを調整できます。サーバーは、選択したワークロードに一致するように BIOS 設定を自動的に構成します。